

まちかど

命の大切さを絵本に込めて

有限会社マルミファーム 絵本の寄贈 10/17

逆川区で養豚業を営む有限会社マルミファームから、「いのち」の大切さと「いただきます」という言葉の意味を伝えたいという想いが込められた絵本「子ぶたのいのち」35冊が寄贈されました。絵本は、有限会社マルミファーム社長の長女が書いた詩に、従業員が絵をつけて自費出版したもので、子ぶたが生まれる瞬間と子ぶたの可愛さ、そして、なぜその子ぶたが生まれてきたのかを子どもの目線で素直に表現されています。この絵本は、町内の小学校や保育園などに配布し、畜産振興や食育推進を目的に活用します。



▲贈呈式の様子



▲寄贈された絵本「子ぶたのいのち」

町議会の仕事を報告

第3回幸田町議会報告会 10/27

分かりやすく開かれた議会を実現するために、3回目となる議会報告会が開催されました。9月定例会での審議状況や行政視察などが報告され、参加者34人は熱心に耳を傾けていました。意見交換の場では、ふるさと納税やごみ処理問題、議員定数など町の現状に関する貴重な意見が出されました。



▲報告会の様子



▲報告する議員

「一心」を合言葉に心をそろえて

南部中学校弦楽部 第7回日本学校合奏コンクール2018全国大会グランドコンテスト出場 10/31

南部中学校弦楽部が第7回日本学校合奏コンクール2018全国大会グランドコンテストへの出場が決まり、町長へ報告に訪れました。演奏を録音して応募をし、全国大会出場の推薦をもらうことができました。部長の梅村歩香さんは「一心を合言葉に全員の心をそろえること、心を届ける演奏をすることを意識しています。仲良く演奏するコツは、日頃からコミュニケーションを取ることです。全国大会では心のある最高の演奏をしたいです」と話してくれました。



▲部長の梅村さん(左)と副部長の田貫紗羽さん(右)

身近な情報を広報へ

産業の祭典にようこそ♪

産業まつり・健康福祉まつり **11/11**

ハッピーネス・ヒル・幸田で、「産業まつり・健康福祉まつり」を開催しました。農産物の品評会・即売会や千人鍋（豚汁）などの無料配布、幸戦隊コウタレンジャーショーなどのステージイベントのほか、姉妹都市である長崎県島原市の「和ろうそく」の絵付け体験や、災害時相互応援協定を結んでいる岩手県住田町によるチェンソーアートの実演などを実施しました。健康福祉まつりでは、健康体操や血管年齢・骨密度などの各種測定などを行い、合わせて約25,000人が来場しました。



①千人鍋と配布を待つお客さん②島原市の和ろうそく絵付け体験③住田町のチェンソーアート
④幸戦隊コウタレンジャーショー⑤親子良い歯コンクールで表彰された皆さん⑥8020運動で表彰された皆さん

火の用心！

防火パレード・消防団出動訓練 **11/11**

秋の火災予防運動の一環として、小学生が消防団車両に乗車し、町内を回って火災予防を呼び掛ける防火パレードを実施しました。「火の用心」と、小学生が元気な声で町民の皆さんに呼び掛け、良い防火広報ができました。

その後消防団は、火災が発生した際に備え、旧長嶺住民広場で出動訓練を実施しました。現場を想定した緊張感のある訓練が行われ、安全確実な消火活動と消防署との連携が確認できました。空気が乾燥する季節、火の取扱いには十分注意しましょう！



▲小学生も一緒に火災予防を呼び掛けました



▲消防団出動訓練の様子

フォトニュース

広報直通ダイヤル (0564) 63-5132
FAX (0564) 63-5139
E-mail: kikakujoho@town.kotal.g.jp

まちかど

開院80周年の記念に寄附をいただきました

京ヶ峰岡田病院長 表敬訪問

11/16

京ヶ峰岡田病院から、町の精神障がい者福祉の向上や地域福祉の推進を目的とする寄附(100万円)の目録が京ヶ峰岡田病院から町に贈られ、院長が町長室へ訪れ、町長と懇談しました。町からは、その寄附を精神障害者福祉事業における施設や設備に活用することを伝えるとともに、開院80周年記念のお祝いを伝えました。また、町から感謝を込めて、町のマスコットキャラクター「えこたん」をかたどった木彫りの人形を贈呈しました。



▲町が贈呈した人形を持つ京ヶ峰岡田病院院長(中央)

自然を守る活動体制が評価されました

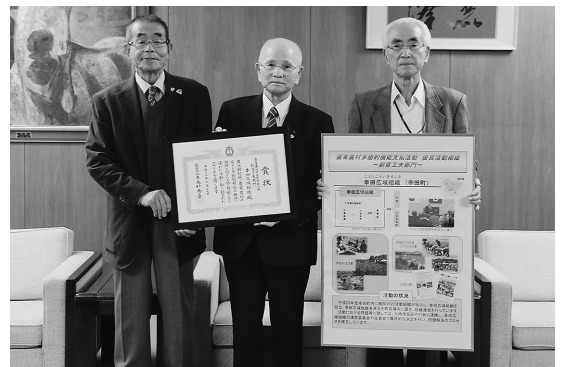
幸田広域組織 愛知県知事賞受賞報告

11/19

多面的機能支払交付金の活動で「幸田広域組織」が愛知県知事賞を受賞し、町長へ報告に訪れました。この活動は、水路などの農業施設の草刈りや、ゴミ拾い、花の植栽などによって、自然環境を守る活動です。平成29年度から、町内にある20の活動組織が協力し「幸田広域組織」として1つにまとめ、活動体制を強化したことが評価されました。幸田広域組織の熱心な活動により、町の美しい自然が守られています。



▲愛知県知事賞を受賞しました



▲賞状などを手にする幸田広域組織の黒柳保夫さん(左)、山口文雄会長(中)、伊奈浩さん(右)

社会福祉の発展へ

平成30年度幸田町社会福祉大会

11/21

町民会館つばきホールで、平成30年度幸田町社会福祉大会が開催されました。社会福祉の発展に貢献された皆さんの顕彰や、白寿(8人)・米寿(145人)・ダイヤモンド婚(26組)・金婚(46組)を迎えられた皆さんのお祝いがされました。また、幸田中1年の塙 麟海さんが「誰もが住みやすい社会にしたい」と題して、全文手話を使いながら体験発表を行いました。



▲体験発表をする塙さん



▲表彰式の様子

身近な情報を広報へ

長年にわたり町の安全に貢献

危険業務従事者叙勲受章 11/19

平成30年11月3日付けで発表された第31回危険業務従事者叙勲で、元幸田町消防長の近藤弘さんに瑞宝双光章が授与されました。11月8日(木)に総務省で伝達式が行われ、その後、皇居で拝謁が行われました。

近藤さんは、昭和51年に幸田町消防本部の第1期生として奉職し、消防本部発足時から警防業務において先頭に立って指揮を執り、消防署長を3年間務められた後、消防長を平成23年4月から2年間務められ、消防行政の発展と安全安心なまちづくりに貢献されました。



▲叙勲を受章した近藤さん(右)

2年連続全勝でシーズンを終えました

第56回スーパーファイティング全日本空手道選手権大会 優勝報告 11/22

第56回スーパーファイティング全日本空手道選手権大会で荻谷小学校5年の稲吉美月さんが優勝し、町長へ報告に訪れました。スーパーファイティング空手道とは、2人の選手が突きや蹴りなどでダウンやポイントを取って競う空手道です。昨年に引き続き、今年も公式戦全勝でシーズンを終えました。強さの秘密は「試合に出てメンタルを鍛えたことと、基礎的な体幹トレーニングを続けたこと」で、来年の抱負について「自分のペース、自分の組み手で優勝したい」と話してくれました。



▲優勝報告に訪れポーズをとる稲吉さん



▲今シーズン獲得したトロフィーを披露

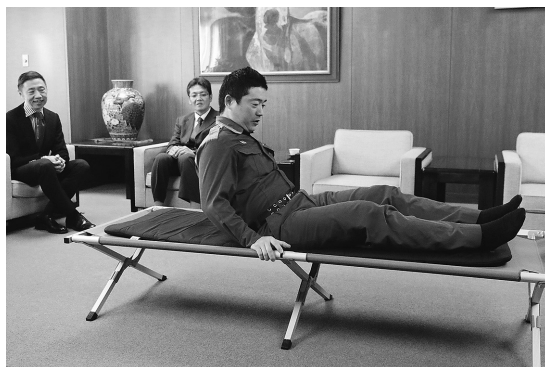
消防隊員に質の高い仮眠を

株式会社エアウィーヴ贈呈式 11/30

株式会社エアウィーヴから「エアウィーヴストレッチパッド」15枚が寄贈されました。このストレッチパッドは、緊急消防援助隊員など被災地に赴いた幸田町職員が仮眠用簡易ベッドの上に敷くことで、過酷な状況下で任務を遂行する隊員らの睡眠の質を高め、疲労を軽減するものです。これを隊員たちが十分に活用させていただくことで、被災地において質の高い活動により一層努めます。



▲ストレッチパッドを渡す阿部副社長(右)



▲ストレッチパッドを体感する隊員

フォトニュース

広報直通ダイヤル (0564) 63-5132
FAX (0564) 63-5139
E-mail: kikakujo@town.kotaj.g.jp